

7月11日(火)、たんぼぼ学級で総合的な学習の時間の努力点公開授業が行われました。単元は「大野木小学校紹介ビデオをつくろう」です。たんぼぼ学級のメンバーや、大野木小学校での一日の過ごし方についてビデオで紹介します。今回は、ポスターを使った紹介の仕方を練習しました。

初めに、ポスターを作ったときのことを振り返りました。児童は事前に、一日のうちでそれぞれが好きな場面(休み時間や給食、授業など)を写真とコメントでポスターにまとめました。そして、どのようなことを紹介するのかを確認しました。



【ポスターを確認する様子】

次に、ビデオを撮るための役割分担を確認しました。役割は、①プロデューサー②カメラマン③アナウンサー④アシスタントの四つです。まるでテレビ局のようです。ただ、今回は、ペアでの活動なので、カメラマンとアナウンサーだけとなりました。

そして、よいアナウンサーの例として、NHK for school の映像を観ました。映像を見て、よいアナウンサーを目指すための三つのレベルを確認しました。

レベル1 声の大きさは3 (学級のみんなに発表するときの声)

レベル2 話す速さはゆっくり

レベル3 ポスターを指差して

このように、「レベル」を示すことで、児童がそれぞれに目標を決めることができました。

いよいよ、ビデオを使って紹介の練習をします。タブレット端末を活用して、それぞれの紹介を撮影しました。カメラマン役の児童がタブレット端末を操作し、「ようい、スタート!」と掛け声をすると、アナウンサー役の児童が紹介を始めました。



その後、撮影したビデオを観ながら、紹介の反省をしました。

「声が小さかった」「〇〇さんの声が入っちゃった」「集中しすぎてカメラ撮影をり見で様子」

と、振り返ることができました。そして、「大きい声で話す」

「メモは下に置いて、前を向いて話す」「もっと練習する」など、よりよい紹介ビデオにするためにそれぞれが頑張りたいことを発表しました。



【ビデオを振り返る様子】

タブレット端末のビデオ機能は、体育の実技だけでなく、こういったスピーチや音読などの場面でも有効活用できます。自分で自分を撮影(録音)し、自分で振り返ることで自己調整につながります。特別支援学級では特に、個別最適な学習が求められています。これからもタブレット端末を有効活用し、話すこと・聞くことに限らず、様々な力を伸ばしていきたいです。